

だいじょうぶ
つながる
こそだて

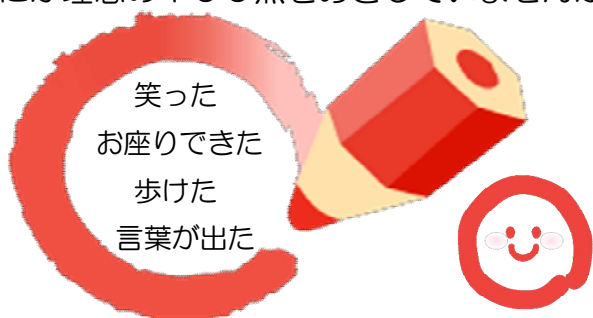
だっこ通信

第48号 2024. 7月発行



100点じゃなくていい!

テストなどでは全問正解が100点、点数の高い方がうれしいですよね。×があれば減点され、落ち込むこともあります。さて子育てはどうでしょう。○や×で子どもを評価し、いつのまにか理想の100点をめざしていませんか？



食べてくれない
歩くのが遅い
覚えが悪い



子どもが小さい頃は「〇〇できた！」が多かったのでは？ 成長するにつれてできていない部分に目が行くようになり、注意や叱責が増えてくる感じですよ。100点の子育てなんてあり得ないのに……。できなかったことに注目してしまうと、子どもや自分のことを減点していくようで気が滅入ります。



オンフーのつぶやき



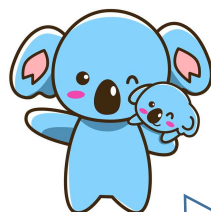
子どもが生まれた時にできたこと・・・泣くこと、寝ること、お乳を飲むこと。それが今はどうだい？ いろんなことができるようになってきているよね。そうなんだよ、頑張っているんだよ！子どもも親も！できないことはまだまだあるけど、できるようになったこと、できていることがたくさんある！だからもっともっと認めてあげよう。ちょっとでもできたら大きな花丸をあげよう！結果よりも頑張っているそのプロセスを大切にしよう。そうすれば、弱さだって未熟さだって愛おしく、優しい目線で見られるような気がするよ。

2024.5.17 朝日新聞 天声人語から引用

明日のテストで0点を取りたくないのびた君、タイムマシーンで未来の出木杉君の家に行き、満点の答案を写そうとしたんだ。ところが「他人の答案を見て百点を取ろうなんてセコいこと考えるなよ」ともう一人ののび太君が現れて言ったんだ。「出木杉君の答案を見るしかボクの生きる道はないんだ」と葛藤するのび太君。結局のび太君はやれるところまでやるしかない！と思い直す。ドラえもんにも時の流れをゆっくりにする道具を出してもらい、徹夜で勉強。結果、テストは65点。「自分の力だけでここまでやった」と、のび太君は泣いた……。



やったね のび太君！すばらしい65点だ！



大切なのは100点を取るんじゃないんだ！

発行者：さくら市生涯学習課（担当 鈴木）